



臥龍蛇の勢い

2025年、令和7年となりました。明けましておめでとうございます。令和6年が辰年、そして今年は巳年。「龍」と「蛇」が入った言葉を探してみると、「臥龍蛇の勢い(がりゅうへびのいきおい)」というものがありませんでした。調べてみると「龍が横たわり、蛇がその力を合わせていっそうの勢いをつける様子」を表現した言葉だそうです。つまり、潜在的な力を持つ人物が動き出し、大きな影響を与えることを意味することから、その人の持つ潜在的な力や才能を発揮し、素晴らしい成果をあげてもらうことを願う言葉です。

本校も本日から後期後半がスタートし、いよいよ令和6年度もあと残り3か月となりました。蛇が脱皮して成長していくように、これまでの弱い心を脱ぎ捨てて新たな自分になることで、「臥龍蛇の勢い」で一人ひとりの潜在力が存分に発揮される3か月、そして1年となることを願っています。

「わたしたちの手でしあわせをひとつに」第67集(太宰府市啓発冊子)から

太宰府市から人権・同和問題啓発冊子「わたしたちの手でしあわせをひとつに」第67集が、本校に届きました。この啓発冊子は、さまざまな人権問題に関する理解を深め、人権尊重について考えるきっかけとなることをめざし、太宰府市が市内の全世帯へ配付しているものです。特に、第2章「人権・同和問題について学ぼう」では、部落差別をはじめとするさまざまな差別への思い込みや偏見をなくす必要性が、わかりやすく記されています。

本校は「令和6・7年度筑紫地区人権教育研究交流推進委員会研究協力校事業」の指定を受け、太宰府東小、太宰府南小と共に「太宰府東中ブロック」として研修をしながら、人権・同和教育についての実践的研究を現在、進めているところです。

「食育」の活動

本校では、研究主題「望ましい食習慣を身につける生徒の育成～生徒が主体的に食に向き合うことを促す取組と関係機関との連携を通して～」のもと、令和5・6年度福岡県学校給食研究指定委嘱事業の指定を受け、研究を進めてまいりました。間もなく教育関係者への研究報告が終わろうとしています。研究のスタートとして生徒会の食育委員会の取組を紹介し、関係機関との連携として、令和5年度に「太宰府市食生活改善推進会」、令和6年度に福岡県立福岡農業高等学校及び福岡女子短期大学のご協力のもと、生徒たちは「食」への理解を深めることができました。さらに、生徒たちは太宰府南小学校の学童のお子さんたちへわかりやすく伝える活動を行い、これまで学んだことをアウトプット(発信)することができました。



福岡農業高校での野菜栽培の様子

2年生修学旅行(12/5～7)奈良・京都・神戸へ

奈良市は太宰府市の友好都市でもあり、平成27年度から市内の中学校は修学旅行で奈良市を訪問しています。本校も、12月に奈良、京都、神戸へ修学旅行に行ってきました。

スローガン「Best friends Best memory」には、「ただの友達ではなく、今まで心から支え合い助け合ってきた最高の友達と最高の思い出を作ろう」という意味が込められていました。サブタイトル「あつまれファミリーのピース」には、「ファミリーである2年生みんなのピースつまり個性を集結させ、一枚のパズルのような大きく深い絆をつくろう」という意味が込められていました。そして大きなトラブルもなく、全員が無事に帰ってくることができました。12名の実行委員を中心に、「ファミリー」としての絆をさらに深め、お互いに助け合うことができる信頼関係を築けていたのではないかと思います。今後の2年生の更なる成長を期待しているところです。



奈良の東大寺での見学の様子